

座談会



株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス統括本部
横浜事業所の取組みについて伺いました。



和気あいあいとした雰囲気、様々な意見が交わされました。

地域の協力を得て
運動イベントを実施

根岸↓日立製作所システム&サービスビジネス統括本部 横浜事業所（SSB）が、コラボヘルス推進アワード2016において、総合的に最も優れた成果を上げ、優秀賞に選ばれました。事業所健康マップ情報の相対評価の高さとともに、従業員の健康管理の重要性を認識し、健康の保持増進、疾病予防に取組まれた点が、受賞理由です。具体的な施策の前に、まず事業所の概要からご説明いただけますか。

佐々木↓横浜事業所は、2017年4月にサービス&プラットフォームというビジネスユニットになり、社会のグローバル化が進むなか、ITとOTを活用した高度な社会インフラを提供しています。モノづくりからコトづくりへと、いうコンセプトを代表する日立ブランドの拠点となっています。

國近↓従業員の方の健康管理ですが、フィジカル面ではどのような特徴があるでしょうか。

長谷川↓実は2015、2016年の調査ではほとんど運動をしていない従業員がほぼ半分。全体的に運動を習慣とする方が少なかったのです。

國近↓横浜事業所は、他の事業所に比べ平均年齢が若いのですが、それでもそういったデータになつていたわけですね。

岡本↓若い従業員は、健診の結果でも所見のある人は少ないですし、体力に自信があるのではないかと考えられます。これが40代になつてくると、意識が変わってきて、定期的な運動を始める人も出てくるといった印象です。

岩井川↓まだまだ大丈夫と思っている従業員の皆さんが多い中、運動イベントをする際、職場の皆さんの反応はいかがでしょうか。

田島↓部課長クラスに加え、意識の高い本部長まで参加されているとあって、運動イベントの参加率は高いですね。

岡本↓その他に参加率が高い理由として、地域の公的な機関との連携を図っている点が挙げられます。インストラクターを派遣いただくスロージョギングの適切な指導をしていただいています。また、職場対抗など各部門間で競うような企画を立てていることもプラスに働いていると思います。

田島↓イベントの積極参加に加え、PCやスマホを使った施策も効果を表わしつつあります。メタボを撃退し、より健康的な生活習慣を身につけられる「はらすまダイエット」なら、PCや携帯電話、スマホで毎日の行動を記録できますよね。今年、同様にPCやスマホを通じ、いつでもどこでも専属トレーナーによるパーソナルトレーニングが可能な「ソネット」を入れたこ

※事業所健康マップ（日立健保で保管している当該年度の特定健診結果、問診結果、レセプト情報等を事業所単位で集計した報告書）の当該年度結果で、健康度が高い状況であり、「コラボヘルス」として事業所・健保が連携した取組みを積極的に実施している事業所に贈られます。



健康管理センタ保健師の皆さん。笑顔で横浜事業所の皆さんをバックアップしています♪



運動イベントは上司の方が積極的に参加するのがポイントなんだね！

横浜事業所は、職場のアイデア、

地域の協力で

健康力
アップ

とで、トレーニングプログラムの申込者が増えました。何かやりたいけど、時間がない、きつかけがない。そんなとき手軽に自宅でできる「ソネット」があると、行動に移しやすいのだからと思います。

長谷川↓また食堂で、料金をセキユリティカードで支払うと、購買履歴とともにそのメニューによる栄養バランスが記録されます。セキュリティカードをカードリーダーにかざすと、食堂にあるPC画面にその記録が表示され、ひと目で栄養バランスを把握でき、その内容を印刷することもできます。

さらに、スロージョギングのイベントの時期には、食堂の方に、走る際に適したメニューを考えていただいています。

國近↓おもしろいですね。健保の側でも、今までは自分たちの企画を職場に提案していましたが、今後、職場での課題を聞いて、それに対し有効な手だてを提案するという流れを作っていこうと思います。横浜事業所での成功例をもとに、ほかの事業所にも横浜事業所の取組みを勧める予定です。

支援体制で
メンタル不調を予防

佐々木↓メンタルヘルス対策については、早期に対応することでメンタルヘルス不調とならないよう施策を実施しています。さらに、再発防止への取組みにも力を入れています。

岡本↓現在、メンタルヘルス不調については、ある程度、新たな発症者が出るのを抑えられています。また、1年以内に再休職した方が、ほとんどいないという状況です。これは管理職向けのメンタルヘルスに関するセミナーを開催していることなどにより管理職の方がメンタルヘルスについてよくご理解いただいていることが大きいと思います。また再発予防や復職支援の充実を図ることを目的に、専門のカウンセラー「復職支援コーディネーター」に支援をしていただいている点も見逃せません。きめ細かい対応により復職まで導いています。

岩井川↓「復職支援コーディネーター」をはじめ、横浜事業所の取組みを参考にしまして、今年度

から全社規模の支援施策として採用しております。産業保健スタッフ（産業医・保健師）、上長、勤労部門がそれぞれの立場で休職者をきちんと支えていく。それぞれが持てる力をうまく発揮して、結果を出せた好例だと思います。

今後もあらゆる角度
から健康をバックアップ

根岸↓今後の抱負、健保に対する要望などいかがでしょうか。

長谷川↓スロージョギングなどのイベントや、メンタルの部分で言えば管理職のセミナーも継続し、加えて昨年から始まっているストレスチェックにからめて職場環境改善などにも力を入れていく予定です。また今後、禁煙については、健保が提案しているオンラインの取組みも行なっていきたいですね。

根岸↓貴重なご意見をいただきました。私たち健保も、職場の皆さんの考えをもとに、さまざまな施策を行なっていきたいと思います。

佐々木 修一さん
サービスプラットフォーム・
プロダクツ人事部
勤務・労政Gr 主任

岡本 安裕さん
京浜地区産業医療統括
センタ 横浜健康管理
センタ センタ長

長谷川 由希子さん
京浜地区産業医療統括センタ
横浜健康管理センタ
副保健師長

田島 麻琴さん
京浜地区産業医療統括センタ
横浜健康管理センタ
保健師

岩井川 庸伸さん
人財統括本部人事労務本部
産業医療推進センタ 主任

國近 則仁さん
日立健康保険組合
事務局長

根岸 正治さん
日立健康保険組合
担当部長

